



令和6年5月18日(土)施術前1

令和6年5月26日(日)施術前1

令和6年9月7日(土)施術前1

令和6年9月27日(金)施術前1

たるみと肝斑がひどく、他院での施術では改善を認めないと訴え、当院受診となった患者さんです。

両口角を結ぶ線より上、両眉1横指上の線より下に主に肝斑が多数認められ、鼻頭、両頬及びフェイスラインが肥大していました。また、人中(鼻下縁—上口唇上縁)がかなり伸展していました。当院のお得な美肌・小顔セット(レーザー照射施術)及びハイフ(超音波照射施術)によって、改善を認めた例です。尚、この間にQスイッチYAGレーザーによる特殊なシミ取り施術を1度行っています。当院のスポットのシミ取りレーザーは、出力を絞り3回の照射でできる限りシミを取るようになっています。



令和6年9月7日(土)施術前1

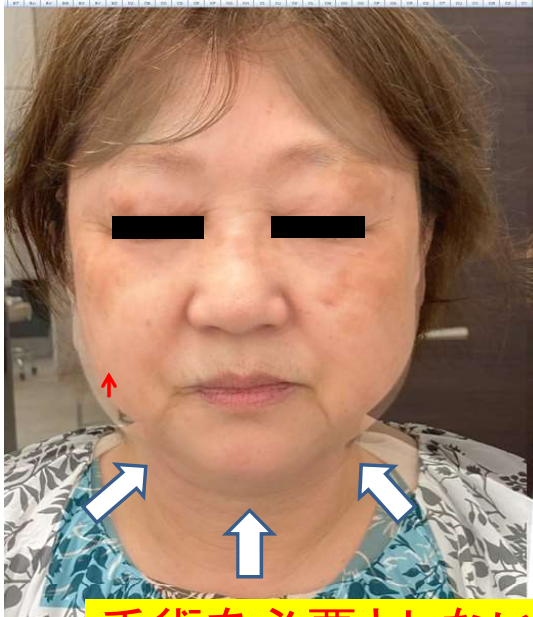


令和6年9月27日(金)施術前1

写真の縦横比率が変わらないように設定し、両側頬骨弓部分の外縁間距離が一致するように写真の大きさを調整したのが、全ての写真です。次いで、両眼列と両眉が一致するように、上記の令和6年9月27日の写真をドラッグして、9月7日の写真に重ね合わせたものが、下の画像です。

その結果、明らかに下顎下縁及び両側フェイスラインが挙上しています。また、口唇裂及び下口唇下縁も挙上しています。

残念なことに、5月から9月までに認められました変化、つまり眼裂—鼻下縁及び人中(鼻下縁—上口唇上縁)の短縮は、他の画像で示しましたように9月7日の施術では認められませんが、これまでの効果から、手術を必要としない美容整形の幕開けと言っても過言ではないと考えています。



手術を必要としない美容整形の幕開け

令和6年9月7日(土)施術前1

令和6年9月27日(金)施術前1